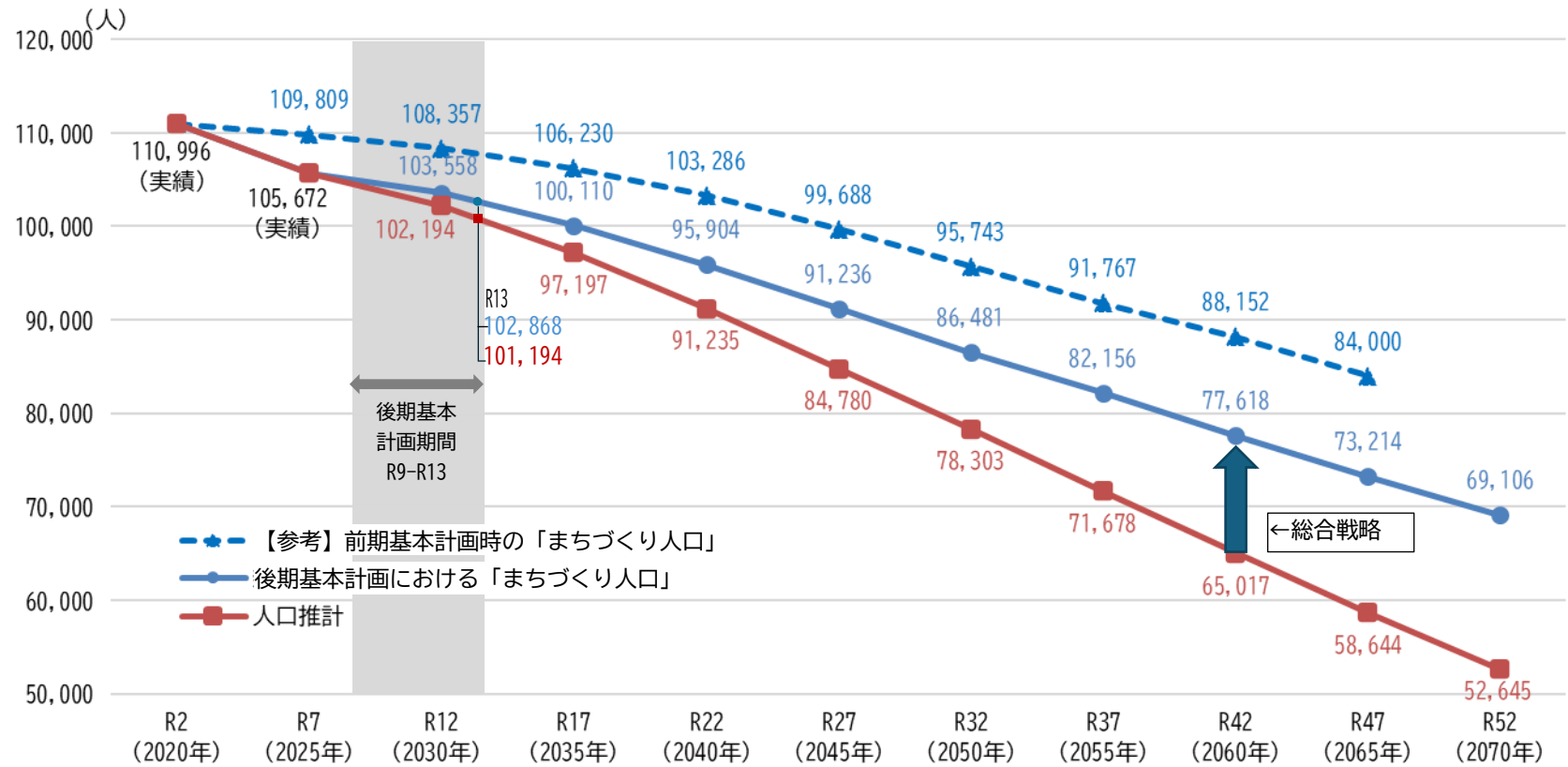


【資料6_参考資料】 人口推計とまちづくり人口（総合戦略）



2020年、2025年の実績は住民基本台帳

	人口推計	後期基本計画における「まちづくり人口」
	◆基本は「社人研推計（※1）」準拠して推計	◆まちづくり人口とは「まちの活力を維持する上で望ましい人口規模」を表すものとして、市独自に名付けたもの。「三田市未来への財政ロードマップ」で掲げた『戦略01 人口減少抑制による税収基盤の強化』内の「10年後に10万人維持」を基に設定
	《推計方法》	《まちづくり人口を達成するための推計条件例》
出生率	社人研推計の低位で推計	「兵庫県目指すべき推計（※2）」の出生率に対し、現状の県と三田市の乖離を2/3に縮小し推計
移動率	社人研推計の三田市移動率で推計	社人研推計での三田市移動率の59歳以下の移動率がマイナスの年代を、2030年までに1/2に縮小して維持（県の住宅施策などを積極的に活用）
死亡率	社人研推計の中位で推計	「兵庫県目指すべき推計」の死亡率に準拠して低位で推計
その他	開発の反映（2027年）：駅前再開発Cブロックを反映	

※1 社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」。過去の出生・死亡・転出入の推移を用いて、将来の人口を予測したもの
 ※2 兵庫県目指すべき推計：兵庫県における人口の将来展望～兵庫県将来人口推計（2020～70年）～ 2025（令和7）年3月

戦略01 人口減少抑制による税収基盤の強化

取組01 若者・子育て世代の移住・定住促進

【所管課】総合政策部 政策課/移住定住促進課

10年後も、10万人が「三田っていいまち！」と思えるまちをめざし、市が持続可能なまちであり続けるため、30代・40代をメインターゲットに移住定住施策を展開します。特に、市外在住の市内在勤者を重点対象とした移住支援の推進を始めとして、三田市にゆかりのある人を主たる対象に、若年時からの郷土愛醸成を通じたUターン・定住に係る施策を推進します。

取組項目		第1次実行計画			備考
		R7	R8	R9	
取組目標	住宅の流通促進	住宅循環促進(セミナー、意識啓発) → 住宅流通促進事業			
	移住支援	住み替え支援補助、三田市移住支援金			
	暮らしの体験	お試し移住、うるかむ三田支援金、オーダーメイドさんだツアー			
	情報発信	広告宣伝、移住相談会、移住相談フェア、移住者交流会			
	定住対策				
	少子化対策				
取組実績					
目標効果額(百万円)		3.0百万円	17.3百万円	28.8百万円	累計 49.1百万円
実績効果額(百万円)		百万円	百万円	百万円	累計 百万円

(参考)10年間の財政効果見込額

(単位:百万円)

R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	累計	財政効果見込額の考え方
3.0	17.3	28.8	40.3	51.8	63.2	74.7	86.2	97.7	109.2	572.2	令和17年3月の人口100,000人程度を前提に算定